

Flashの廃止後にHTML5をサポートしないUCS CシリーズM3およびM4サーバを管理

内容

[概要](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[CIMCにアクセスできない状態でvKVMを起動するための直接リンク](#)

[XML APIを使用したvKVMの起動](#)

[コマンドラインからのCIMCの更新](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、HTML5をサポートしていないファームウェアを使用して、Cisco Integrated Management Console(CIMC)または仮想キーボードビデオマウス(vKVM)にアクセスしてアップグレードするさまざまな手順について説明します。

要件

これらの項目に関する知識があることが推奨されます。

- CIMC
- vKVM
- Cisco UCS Cシリーズラックサーバ

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

ただし、このドキュメントの情報は、デモ用に次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCSC-C220-M4S
- CIMCバージョン2.0(13g)および3.0(3f)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

アドビの[サポート終了のお知らせ](#)により、アドビは2020-12-31以降のFlashベースのコンテンツとソフトウェアを推奨しないことを計画しています。

問題

JavaベースのCisco Integrated Management Controller(IMC)ソフトウェアリリースのWebユーザインターフェイス(WebUI)は、2020-12-31のAdobe Flashを廃止した後は機能しない場合があります。[FN72014](#)

注：M3 Platform ServerのCisco IMC用HTML5ベースWeb UIインターフェイスは、どのソフトウェアリリースでも使用できません。Cisco Bug ID CSCvs11682を参照して[ください](#)。

注：UCS M4 Cシリーズサーバには、Cisco IMC 3.0(x)を搭載したHTML5ベースのWebUIがあるため、M4サーバには影響しません。ただし、すべてのUCS CシリーズM3/M4サーバで、2.(x)以下のサーバファームウェアが影響を受けます。

解決方法

M4プラットフォームサーバのM3用CIMCにアクセスする方法。

CIMCにアクセスするには、ブラウザの古いバージョンが残っている場合、またはフラッシュをサポートするサードパーティ製ブラウザがある場合があります。

ただし、複数のセキュリティ要因があるため、シスコではこの方法を推奨していません。

CIMCにアクセスできない状態でvKVMを起動するための直接リンク

- コンピュータまたはVMに互換性のあるJavaバージョンがインストールされていることを確認してください。
- CIMCバージョンが2.xまたは1.xの場合、現在のJavaバージョンで障害が発生した場合は、JavaバージョンをJava7 u21またはJava7 u56バージョンにダウングレードする必要があります。
- ユーザは、CIMCのIPがJavaの設定でvKVMを起動できるようにする必要があります。

リンクの形式：

`https://x.x.x.x/kvm.jnlp?cimcAddr= x.x.x.x &tkn1=admin&tkn2=password`

1. <x.x.x.x>をリンクの両方の場所のCIMC IPに置き換えます (これはリンクで2回使用されます)。

2. <CIMC UsernameをCIMC username (通常はadmin) に置き換えると、admin以外の変更のみが行われます。

3. <password>を現在のCIMCパスワードで置き換えます。

例：

```
https://172.16.10.20/kvm.jnlp?cimcAddr=172.16.10.20&tkn1=admin&tkn2=cisco@123
```

特定の情報を含むフォーマット済みリンクをブラウザに貼り付けJNLPファイルを保存/保持し、すべてのポップアップに対してAccept/Continue/Yesを開きます。KVMが起動された後にHUUを実行するか、OSバージョンをISOにアップグレードをしてください。

XML APIを使用したvKVMの起動

PowerShellとJavaをワークステーションにインストールすることを推奨します。

\$cimcIP/\$cimcUsername/\$cimcPassword変数を変更し、スクリプトをPowerShell CLIに貼り付けて、XML APIを介してKVMを起動します。

#Powershell Cisco IMCでJava KVMを起動するスクリプト：

```
$cimcIP = "XX.XX.XX.XX"
$cimcUsername = "admin"
$cimcPassword = "password"
[System.Net.ServicePointManager]::ServerCertificateValidationCallback = {$true}
[Net.ServicePointManager]::SecurityProtocol = [Net.SecurityProtocolType]::Tls12
$Auth = @{uri = "https://$cimcIP/nuova";
         Method = 'POST';
         Body = "<aaaLogin inName='$cimcUsername'
inPassword='$cimcPassword'></aaaLogin>";
        }
$xml]$AuthXML = Invoke-WebRequest @Auth -UseBasicParsing $AuthCookie =
$AuthXML.aaaLogin.outCookie $GetComputeAuthTokens = @{uri = "https://$cimcIP/nuova";
              Method = 'POST';
              Body = "<aaaGetComputeAuthTokens cookie='$AuthCookie' />";
            }
$xml]$GetComputeAuthTokensXML = Invoke-WebRequest @GetComputeAuthTokens -UseBasicParsing
$Token = $GetComputeAuthTokensXML.aaaGetComputeAuthTokens.outTokens -replace ", ", "&tkn2="
$KVMurl = "https://$cimcIP/kvm.jnlp?cimcAddr=$cimcIP&cimcName=KVM&tkn1=$Token"
javaws "https://$cimcIP/kvm.jnlp?cimcAddr=$cimcIP&cimcName=KVM&tkn1=$Token"
```

完全なIMC APIについては、『[Cisco IMC XML API Programmer's Guide](#)』を参照してください。

コマンドラインからのCIMCの更新

CLIを使用してCIMCファームウェアをアップグレードできます (M4のみ)。

その後、vKVMを起動し、通常どおりHUUを実行できます。

ステップ1：埋め込みリンクにある[CLI構成ガイドを使用](#)し、「Ciscoからのファームウェアの取得」セクションのステップ11.をチェックして、ファイルを抽出する手順を確認します。

ステップ2:CIMC.BINをシステムのtftp/SCP/FTPサーバに追加します。

ステップ3:CIMCのIPアドレスを使用してサーバにSSH接続します。次に、共有コマンドを実行します。

ヒント：これは、M4サーバのCIMCアップグレードを実現するためにCLIからBIOSをアップデートする必要はありません。ただし、CIMCが更新され、ブラウザからアクセスできるようになります。HUUを実行し、すべてのコンポーネントを更新してください。

詳細については、『Cisco IMC Firmware Management guide: CLI Configuration Guide』を[参照してください](#)。

関連情報

- [FN72012:Adobe Flashのサポート終了によるUCS Managerの特定のリリース – ソフトウェア](#)
- [FN72014:UCS M3ラックサーバの\(Cisco IMC\)がAdobe Flashのサポート終了の影響を受ける](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)